

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-5
提出年月日	令和5年12月22日

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

第60条 監視測定設備

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 60条 (SA60H r.17.0)	60-6-73	防潮堤の高さ変更を踏まえ、以下の情報を変更した。 ・第1図 ・第2図	
2	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 60条 (SA60H-9 r.10.0)	60-補足-132	同上	
3	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 60条 (SA60H r.17.0)	60-6-75	防潮堤の高さ変更を踏まえ、以下の情報を変更した。 (旧) …約150m… (新) …約200m… (旧) …約1分… (新) …約1.5分… (旧) …地面から20° 程度… (新) …地面から29° 程度… (旧) …11%程度であり影響は小さい。 (新) …16%程度であり直上の放射性物質は影響を受けないことから防潮堤による遮蔽の影響は小さい。 (旧) …地面から11° 程度… (新) …地面から15° 程度…  また、第5図を修正した。	
4	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 60条 (SA60H-9 r.10.0)	60-補足-133~134	同上	
5	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 60条 (SA60H r.17.0)	60-6-76	防潮堤の高さ変更を踏まえ、直接線・スカイシャイン線の観測への影響の確認方法を見直した。  (旧) ●スカイシャイン線については、新設防潮堤の影響を受ける角度(領域)は6.0°と狭く、例えば0.5MeV $\gamma$ 線の空気に対する平均自由行程は95m程度であり、多くのスカイシャイン線による放射線が新設防潮堤の影響が無い領域まで到達するため、スカイシャイン線は十分計測することが可能である。  (新) ●スカイシャイン線については、新設防潮堤の影響を受ける角度(領域)は15°程度であり、スカイシャイン線に対し新設防潮堤影響が無い領域からの放射線を計測可能である。 ●新設防潮堤がある場合とない場合をモデル化し、SCATTERINGコードによりそれぞれの場合で直接線とスカイシャイン線による線量率を評価したところ、新設防潮堤がある場合の線量率は、ない場合の22%となり、同オーダーレベルでの観測が可能である。  また、第6図を修正した。	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
6	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 60条 (SA60H-9 r. 10. 0)	60-補足-135	同上	
7	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 60条 (SA60H r. 17. 0)	60-6-77	防潮堤の高さ変更を踏まえ、以下の情報を変更した。 (旧) …低下は11%程度… (新) …低下は16%程度…	
8	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 60条 (SA60H-9 r. 10. 0)	60-補足-136	同上	
9	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 60条 (SA60H r. 17. 0)	60-6-77～80	防潮堤の高さ変更を踏まえ、高さ変更の影響について記載した(d)を追加した。	
10	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 60条 (SA60H-9 r. 10. 0)	60-補足-136～138	同上	